学校番号	3037

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	(学) 情報演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「Monaca Education」（アシアル）、「Python で学ぶ プログラミング入門」（アシアル）、30 時間でマスター　Excel2019（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では Python プログラミングの基礎から応用までを段階的に学習します。プログラミングは実践が鍵ですので、授業で学んだ内容を積極的に自分で試し、Monaca Education を活用して自己学習も進めてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
プログラミングの基本概念と構文を理解し、実際のコード作成能力と問題解決スキルを身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
プログラムを通じた論理的思考と判断力を養い、アイデアや解決策を的確に表現する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
自発的に学習に取り組むだけでなく、課題やプロジェクトへの参加度と協力的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プログラミングの基本概念と構文を理解し、実際のコード作成能力と問題解決スキルを身に付ける。	プログラムを通じた論理的思考と判断力を養い、アイデアや解決策を的確に表現する力を身に付ける。	自発的に学習に取り組むだけでなく、課題やプロジェクトへの参加度と協力的な態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	変数と順次実	データ型と変数の基本 変数の宣言と代入 プログラムの順次実行とは	a:変数とデータ型を理解できる。 b:順次実行するコードを記述できる。 c:コードが記述できるまで何度も取り組んでいる。	小テスト	実技テスト	課題提出

	行					
	条件による選択	if 文を使った条件分岐 複数の条件を組み合わせる方法 条件によるプログラムの流れの制御	a:条件分岐の概念を理解している。 b:条件分岐するコードを記述できる。 c: コードが記述できるまで何度も取り組んでいる。	小テスト	実技テスト	課題提出
	配列	配列(リスト)の基本概念 リストの操作とアクセス方法 リストを使ったデータの管理	a:リストを用いたデータ管理の技術について理解している。 b:リストを用いたコードを記述できる。 c: コードが記述できるまで何度も取り組んでいる。	小テスト	実技テスト	課題提出
2学期	繰り返し	for 文と while 文によるループ 繰り返し処理の実例 ループとプログラムの効率	a:反復処理の概念を理解している。 b:繰り返し処理するコードを記述できる。 c: コードが記述できるまで何度も取り組んでいる。	小テスト	実技テスト	課題提出
	関数	関数の定義と使用 引数と戻り値 モジュール化とコードの再利用	a:関数の使い方を理解している。 b:関数を使ったコードを記述できる。 c: コードが記述できるまで何度も取り組んでいる。	小テスト	実技テスト	課題提出
	アプリ制作①	アプリ設計 制作	a:設計したアプリを制作するための実践的な知識と技能を身に付けている。 b:ユーザーのニーズに合わせたアプリを企画、設計できる。 c:チームでアプリ開発を行うことができる。	成果物	課題提出	課題提出
3学期	アプリ制作②	アプリ発表 相互評価	a: 技術用語や機能について正確に説明できる。 b:開発したアプリを適切にプレゼンテーションすることができる。 c: 相互評価や発表に主体的に取り組み、他者の意見を活かしている。	パフォーマンス	パフォーマンス	相互評価シート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度